

楽しくビーチをきれいにしよう

静岡市内小学校

山田さん

今年の夏休みに、私は、家そくでいすりにょ行に行きました。フェリーにのっていすにむかう時、海の上を、ペットボトルがなみといっしょにながれているを見つけました。私は、

「あっ、これだ！」

と、思いました。なぜなら、学校のじゅぎょうで、海のプラスチックごみについて、へん強したからです。

学校のじゅぎょうで、ストローがはなにささったカメラや、ビニールぶくろをくらげとまちがえて食べてしまったイルカのことを知りました。そのゴミは、人間が道にポイすてしたものが風で川におち、川から海にながれついて、魚たちをきずつけていると学びました。

いすについてから、カヌーをこいで海をわたりました。私のカヌーのよこをビニールぶくろのゴミが通りました。カヌーの中で休けいしたビーチでも、おかしなぶくろのゴミを見つけました。でも私は、ゴミだけでなく青や水色のきれいなおはじきのような小石も見つけました。カヌーのガイドさんが、

「それはビーチグラスだよ」

と、教えてくれました。ビーチグラスは、海にながれついたビンのゴミが小さなかけらになったものだそうです。ビーチをさがすと、青色だけでなく、むらさきやピンク色のものや、色々な形のものがたくさん見つかりました。そして、ビーチグラスを近くのお店にもって行くということがあることも知りました。たとえば、三センチより大きいビーチグラスを三こ、とんかつ屋さんにもって行くと、エビフライ一本かシユース一本と交かんでできます。私は三センチより大きいビーチグラスは見つけられなかったけれど、たくさんきれいなビーチグラスのかけらと貝をひろいました。だからさがしてみたいで、とても楽しかったです。いっしょにプラスチックごみをひろうのも楽しくできます。家に帰ってから、そのたくさんのかげらと貝をくみ合わせて、お花とちょうを作りました。とてもいい夏休みの思い出になりました。

私は、ビーチグラスをあつめるのは、楽しくゴミひろいができるよい方ほうだな、と思いました。だから、たくさんの人にビーチグラスのことを知ってもらいたいです。そのための私の考えは、ビーチグラスをつかった作ひんのコンクールをひろくことです。みんなでゴミをひろいながらビーチグラスをあつめて、いろいろなものを作ってはっぴょうし合ったら、楽しいと思います。海もきれいになって、お魚さ

んもうれしくなって、みんなえ顔になれると思います。

私はまた海に行って、ゴミもビーチグラスもたくさんあつめて、
こんどは王かんを作りたいです。